

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

履修のしかた

- ・ 1年次には特に「言語学への招待」を修得してください。この入門科目を履修しながら、ことばのどういう側面に興味を覚えるかをよく考えてください。幼児が母語を獲得するプロセス、あるいは何らかの背景を持つ個人が外国語を習得するプロセスでしょうか。また、文は話されていれば音声の連続ですし、書かれていれば文字の連続です。しかし、少なくとも言語学は文字や音声が表示する中心を、「単語」だと考えてきました。というのも、文は単語を組み合わせて無数に作ることができるのに対して、単語は明らかに個人の中の頭に記憶されているからです。このようにして他の専攻プログラムが提供する科目を、自分の興味と関連づけてみてください。
- ・ 2年次には「談話分析」と、興味によって「対照言語学」あるいは「言語政策論」のどちらかを最低限、修得してください。なかなか困難に思えるのは、「ことば」を例えば「思考」と区別して考えることができるかです。というのも、思考する場合にもことばを使っているように思えるからです。あるいは、「ことば」を分類するための用語がたくさんあることに気がつくかもしれません。例えば、「母国語」「外国語」「公用語」「標準語」それから「名詞」「動詞」あるいは「おやじギャグ」にいたるまで。これらは何のためにあるのでしょうか。また、国語辞典は百科事典とどう違うのでしょうか。漢和辞典や英和辞典とは。人名事典と電話帳はどうでしょう。そもそも「辞典」と「事典」を日本ではどうして書き分けるのでしょうか。
- ・ 「履修モデル集」には一例として、社会的側面に興味がある人をメジャーとして、心理的側面に興味がある人をマイナーとして示しました。レベルと単位数を参考にしてそれぞれで独自の履修プログラムを作成してください。

他の専攻プログラムとの関係

- ・ 関連性のつよい専攻プログラム：コミュニケーション学、心理学、社会学、文化人類学
- ・ マイナーとして推奨する専攻プログラム：哲学、日本語日本文学、日本語教育、英語学・英文学、中国言語文化、基礎数理(数学、生物学)、情報科学、メディア
- ・ 他の専攻プログラムで履修を推奨する科目：英語学入門、言語データ分析、日本語教育文法、多言語交流演習、日中対照言語研究、中国語音声学、データベースⅠ、社会統計学、認知の科学、知覚・認知心理学、環境と文明、動物学Ⅰ・Ⅱ、集団コミュニケーション、広告の世界、民族研究、言語と文化、世界史概論、世界史における日本

留学・教職その他

- ・ できれば二年生から三年生の間に一年間留学してください。十分に卒論を書く材料は整ったこととなります。
- ・ 英語や日本語あるいは中国語を教える職業につくのであれば、このプログラムをマイナーでも取ることを強く勧めます。

学生へのメッセージ

- ・ ことばを使用するあらゆる職業に欠かせない知識に触れてほしいと思っています。
- ・ 日常目にふれる出来事を不思議に思い、とことん考える学生の履修を望みます。
- ・ 専攻プログラムの教育方針：ことばは私たちが呼吸や歩行をするくらい当たり前の存在です。ですから、どこから考えた方がいいのか悩むのは当然です。どんな質問でもたくさん出るようになれば、このプログラムの半分以上の目的は達成されたといえるでしょう。

言語学専攻プログラム

1 ことばの社会的側面に興味がある人の履修モデル(メジャー)

この履修モデルは、ことばの社会的側面について興味のある人のために一例として示します。イマ、ココで、ワタシがアナタに話しかけるところからコミュニケーションがスタートするのだとしたら、ことばを無視して心、技術、社会、環境について考えることはできません。わたしたちは、日本語を身につけるべく日本人として生まれてきたわけではありません。ことばの世界は話し手の数やその言語を学ぼうとする人の数に違いが見られる格差社会です。また、ことばの違いは無理解だけでなく誤解や偏見を生み出します。解剖学はことばの容れ物としての人体について知識を与えてくれますが、その働きについては生理学だけでなく、ことばの使用を見る必要があります。人文社会系の何を専攻するか悩んでいる人にとって、ことばから始めることは方向を決めるための思いがけない近道になるはずです。

言語学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門	◎	LIN1100L	言語学への招待	2		JPE2130L	言語習得法	2								
	○	LIN1440L	日本語の語彙・意味	4		JPE2110L	日本語の表現	4								
		MTH1100L	数学概論	2												
		COM1000L	現代コミュニケーション理論	4												
基礎		ELS1350L	英語の音声	4	◎	LIN2430L	談話分析	4		PHL3330L	論理学	4				
					○	LIN2440L	日本語の音声	2		HIS3110L	世界史における日本	4				
					○	LIN2170L	社会言語学	4								
					○	LIN2270L	言語政策論	4								
						CLS2350L	中国語音声学	4								
						BIO2021L	動物学 I	2								
						BIO2022L	動物学 II	2								
						SOC2021L	社会調査法	4								
理論						IST2140L	認知の科学	2								
									○	LIN3410L	プラグマティックス	4				
									○	LIN3360L	対照言語学	4				
									○	LIN3110L	音韻論	2				
									○	LIN3310L	言語学隣接研究	4				
									LIN3350L	レトリックの歴史	2					
									○	LIN3130L	テキスト研究理論	4				
										COM3140L	言語とジェンダー	4				

その他の推奨科目

※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I〔2〕
- ・専攻演習 II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

言語学専攻プログラム

2 ことばの心理的側面の興味がある人の履修モデル(マイナー)

ことばの心理的側面に興味のある人が、マイナーとしてこのプログラムを履修する場合のモデルを示します。この分野の最大のテーマは子どもが母語を獲得する過程であり、私たちがことばを理解したり産出したりする処理過程です。心理学の専攻プログラムにも関連する科目が置かれているかもしれません。

言語学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門	◎	LIN1100L	言語学への招待	2		JPE2130L	言語習得法	2								
		LIN1440L	日本語の語彙・意味	4		JPE2110L	日本語の表現	4								
		MTH1100L	数学概論	2												
	○	COM1000L	現代コミュニケーション理論	4												
基礎		ELS1350L	英語の音声	4	◎	LIN2430L	談話分析	4		PHL3330L	論理学	4				
					○	LIN2440L	日本語の音声	2		HIS3110L	世界史における日本	4				
						LIN2170L	社会言語学	4								
						LIN2270L	言語政策論	4								
						CLS2350L	中国語音声学	4								
						BIO2021L	動物学 I	2								
						BIO2022L	動物学 II	2								
						SOC2021L	社会調査法	4								
理論						IST2140L	認知の科学	2								
									○	LIN3410L	プラグマティクス	4				
										LIN3360L	対照言語学	4				
									○	LIN3110L	音韻論	2				
										LIN3310L	言語学隣接研究	4				
										LIN3350L	レトリックの歴史	2				
									LIN3130L	テキスト研究理論	4					
									COM3140L	言語とジェンダー	4					

その他の推奨科目

※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I〔2〕
- ・専攻演習 II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

言語学専攻プログラム

履修のしかた

- ・ 1年次には特に「言語学への招待」を修得してください。この入門科目を履修しながら、ことばのどういう側面に興味を覚えるかをよく考えてください。幼児が母語を獲得するプロセス、あるいは何らかの背景を持つ個人が外国語を習得するプロセスでしょうか。また、文は話されていれば音声の連続ですし、書かれていれば文字の連続です。しかし、少なくとも言語学は文字や音声が表示する中心を、「単語」だと考えてきました。というのも、文は単語を組み合わせて無数に作ることができるのに対して、単語は明らかに個々人の頭の中に記憶されているからです。このようにして他の専攻プログラムが提供する科目を、自分の興味と関連づけてみてください。
- ・ 2年次には「談話分析」と、興味によって「対照言語学」あるいは「言語政策論」のどちらかを最低限、修得してください。なかなか困難に思えるのは、「ことば」を例えば「思考」と区別して考えることができるかです。というのも、思考する場合にもことばを使っているように思えるからです。あるいは、「ことば」を分類するための用語がたくさんあることに気がつくかもしれません。例えば、「母国語」「外国語」「公用語」「標準語」それから「名詞」「動詞」あるいは「おやしギャグ」にいたるまで。これらは何のためにあるのでしょうか。また、国語辞典は百科事典とどう違うのでしょうか。漢和辞典や英和辞典とは。人名事典と電話帳はどうでしょう。そもそも「辞典」と「事典」を日本ではどうして書き分けるのでしょうか。
- ・ 「履修モデル集」には一例として、社会的側面に興味がある人をメジャーとして、心理的側面に興味がある人をマイナーとして示しました。レベルと単位数を参考にしてそれぞれで独自の履修プログラムを作成してください。

他の専攻プログラムとの関係

- ・ 関連性のつよい専攻プログラム：コミュニケーション学、心理学、社会学、文化人類学
- ・ マイナーとして推奨する専攻プログラム：哲学、日本語日本文学、日本語教育、英語学・英文学、中国言語文化、基礎数理(数学、生物学)、情報科学、メディア
- ・ 他の専攻プログラムで履修を推奨する科目：英語学入門、言語データ分析、日本語教育文法、多言語交流演習、日中対照言語研究、中国語音声学、データベースⅠ、社会統計学、認知の科学、認知心理学、環境と文明、動物学Ⅰ・Ⅱ、集団コミュニケーション、広告の世界、民族研究、言語と文化、世界史概論、世界史における日本

留学・教職その他

- ・ できれば二年生から三年生の間に一年間留学してください。十分に卒論を書く材料は整ったことになります。
- ・ 英語や日本語あるいは中国語を教える職業につくのであれば、このプログラムをマイナーでも取ることを強く勧めます。

学生へのメッセージ

- ・ ことばを使用するあらゆる職業に欠かせない知識に触れてほしいと思っています。
- ・ 日常目にふれる出来事を不思議に思い、とことん考える学生の履修を望みます。
- ・ 専攻プログラムの教育方針：ことばは私たちが呼吸や歩行をするくらい当たり前の存在です。ですから、どこから考えたらいいのか悩むのは当然です。どんな質問でもたくさん出るようになれば、このプログラムの半分以上の目的は達成されたといえるでしょう。

言語学専攻プログラム

1 ことばの社会的側面に興味がある人の履修モデル(メジャー)

この履修モデルは、ことばの社会的側面について、いろいろな角度から考えるための一例として示します。「わたし」が「あなた」に話しかけるところから社会がスタートするのだとしたら、ことばを無視したまま社会について考えることはできません。わたしたちは、あることばを身につけるべく生まれてきたわけではありません。ことばの世界は話し手の数やそれを学ぼうとする人の数に違いが見られる階級社会です。さらに、ことばの違いは無理解だけでなく誤解や偏見の源になります。解剖学はことばの入れ物としての人体について知識を与えてくれますが、それ以外の側面についてはことばを見るより他に手立てはありません。人文社会系の何を専攻するか悩んでいる人にとって、ことばから始めることは方向を決めるための思いがけない近道になるはずです。

言語学専攻プログラム科目

level	1000				2000				3000				4000			
カテゴリ	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門	◎	LIN1100L	言語学への招待	2		JPE2130L	言語習得法	2								
	○	LIN1440L	日本語の語彙・意味	4		JPE2110L	日本語の表現	4								
		MTH1100L	数学概論	2												
		COM1000L	現代コミュニケーション理論	4												
基礎		ELS1350L	英語の音声	4	◎	LIN2430L	談話分析	4		PHL3330L	論理学	4				
					○	LIN2440L	日本語の音声	2	○	HIS3110L	世界史における日本	4				
					○	LIN2170L	社会言語学	4								
					○	LIN2270L	言語政策論	4								
						CLS2350L	中国語音声学	4								
						BIO2021L	動物学 I	2								
						BIO2022L	動物学 II	2								
						SOC2021L	社会調査法	4								
理論						IST2140L	認知の科学	2								
									○	LIN3410L	ブラグマティクス	4				
									○	LIN3360L	対照言語学	4				
									○	LIN3110L	音韻論	2				
									○	LIN3310L	言語学隣接研究	4				
									LIN3350L	レトリックの歴史	2					
									LIN3130L	テキスト研究理論	4					
									COM3140L	言語とジェンダー	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業論文[4]

言語学専攻プログラム

2 ことばの心理的側面の興味がある人の履修モデル(マイナー)

ここではことばの心理的側面に興味のある人が、マイナーとしてこのプログラムを履修する場合のモデルを示します。その他の側面は心理学の専攻プログラムでしっかり身につけてください。

言語学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
入門	◎	LIN1100L	言語学への招待	2	○	JPE2130L	言語習得法	2								
		LIN1440L	日本語の語彙・意味	4		JPE2110L	日本語の表現	4								
		MTH1100L	数学概論	2												
	○	COM1000L	現代コミュニケーション理論	4												
基礎		ELS1350L	英語の音声	4	◎	LIN2430L	談話分析	4		PHL3330L	論理学	4				
					○	LIN2440L	日本語の音声	2		HIS3110L	世界史における日本	4				
						LIN2170L	社会言語学	4								
					○	LIN2270L	言語政策論	4								
						CLS2350L	中国語音声学	4								
						BIO2021L	動物学 I	2								
						BIO2022L	動物学 II	2								
						SOC2021L	社会調査法	4								
理論						IST2140L	認知の科学	2								
									○	LIN3410L	プラグマティクス	4				
									○	LIN3360L	対照言語学	4				
									○	LIN3110L	音韻論	2				
									○	LIN3310L	言語学隣接研究	4				
										LIN3350L	レトリックの歴史	2				
									LIN3130L	テキスト研究理論	4					
									COM3140L	言語とジェンダー	4					

その他の推奨科目

※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I〔2〕
- ・専攻演習 II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕